



第6回食育活動表彰
消費・安全局長賞

ボランティア部門【食育推進ボランティアの部】消費・安全局長賞

島根県立大学 地球食堂サークル

〔島根県：活動期間4年〕

おき あまちょう

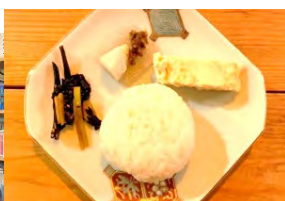
「隠岐海士町の島食を用いた多文化共生プロジェクトー日本料理を通じた交流ー」、
「文通を通じた食育活動」、「レシピとその動画作成」

地球食堂で 年齢、国籍を問わずに交流

地球食堂では、子供たちに広い視野を持ってほしいという思いで、海外や県外からの旅行者や地域の方が集う出雲市駅前のゲストハウスで、学生が食事のメニューを考え、外国人や地域の子供たちと調理・食事・片付け・遊びを行っています。学生が隠岐海士町主催の日本料理を学ぶ「島食の寺子屋」に参加し、そこで学んだ島食のほか、だしによる減塩効果、生産者の思いを伝える、食材本来の味や色を引き出す調理法による食品ロスの削減などを実践しています。



和食の文化を継承



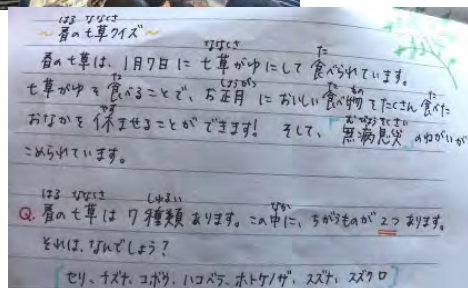
だしおにぎり

日本の食文化を伝える 「文通」で子供たちと交流

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域における対面での交流が制限されるなか、地元の小学生と食文化に関する文通を行いました。その中で、「春の七草」などのクイズを通じて、日本の食文化を知ってもらうきっかけ作りを行いました。



子供たちとの交流



地元小学生との文通

備蓄食などを用いたレシピの作成

出雲市の社会福祉協議会とのコラボ企画として、備蓄食や寄付していただいた食材を用いたレシピを作成しました。また、出雲市在住のブラジルやフィリピン出身の方に向けて、市内で手に入る食材を用いた各国の定番料理のレシピを冊子にまとめました。



島根県立大学

コロナ禍支援に恩返し
～想いをカタチに～

ブラジル料理
カンジャ デ ガリニヤ風
(鶏雑炊)



この度は光栄な賞をいただき、大変嬉しく思います。これからも「食」を通して、年齢や国籍を問わず交流できる場の提供や新たなコラボをしていきます。そして「食の楽しみ」を伝えていけるよう取り組んでいきます。

地球食堂サークル
代表 上田 佳瑠羅

受賞団体の取組紹介

教育関係者・事業者部門





第6回食育活動表彰
農林水産大臣賞

教育関係者・事業者部門【教育等関係者の部】

農林水産大臣賞

NPO エコラボ

〔石川県：活動期間15年〕

地域資源とマネジメント視点を活用した体験型環境食育の推進 ～食の環境負荷を低減し価値を高める食育～

育てて食べる 環境配慮型農業の体験

食の生産・流通・保存・調理・廃棄に注目し、持続可能な社会の構築に貢献する食育を目指し、五感にひびく食農体験 育てて食べる親子エコ農園を地元農園と協働で実施。体験の場を提供し、環境保全への意識の醸成につなげています。



稲刈り体験の様子



エコ農園体験の様子

晴れた日はソーラークッキング

ゼロカーボン時代に向けた再生可能エネルギーの活用と被災時の安全な食の確保を可能にするため、ソーラークッカーを使った体験講座を行っています。なお、遠隔地と互いの地域の伝統食を同時にソーラークッキングするWebソーラークッキング交流も今後実施予定です。



ソーラークッキング



大学や防災組織と共同研究

ごみゼロアクション

キッチンにおけるごみ発生抑制の取組として、生産現場の3S活動（整理・整頓・清掃）の視点から、在庫把握、適量購入・保存・献立の立て方・食品ロス削減クッキングについて学ぶための講座を行うことにより、実践につなげています。



買い物がご持参で
必要なものを
必要な分だけ購入

キッチンマネージメント
について学ぶ



この度は栄誉ある賞を賜り感謝申し上げます。私たちは、次世代の幸福につながる環境食育を進めて参りました。今後も地域の食の恵みを活かし、多様な方々との連携をいただきながら活動を充実させて参りたいと存じます。

NPO エコラボ 理事長 中村 早苗

下関市立しものせき水族館「海響館」 (公益財団法人 下関海洋科学アカデミー)

かいきょうかん
[山口県：活動期間20年]

水族館（海響館）における魚食の普及啓発に関する活動
(オープンラボ、特別企画展「美味sea水族館」)

来館者が自由参加できる 「オープンラボ」

開館当初から、来館者が自由参加できる学習プログラム「オープンラボ」を開催しています。オープンラボは下関市にある水産大学校との共同運営で、年間を通じて行う様々なテーマの一部が「食」のテーマとなっています。「比べてみよう！ゼラチンと寒天」「しょっぱい対決」など、実験を交え楽しく学べる体験を提供しています。また、煮魚を作り、食べながら魚の骨について学ぶ「煮魚教室」も好評を得ています。



オープンラボの様子

小学校、地域と連携した 海洋教育プログラム

地域の教育資源を活用した海洋教育プログラムを行っています。令和3年度は下関市の魚「フグ」をテーマに地元の小学校の単元として組み込み、「食」を含めた様々な内容で学びにつなげています。



海洋教育プログラムの様子

「食・資源」をテーマにした 魚食に関する特別企画展

水族館開館20周年の節目である令和3年には「食・資源」をテーマとし、魚食に関する特別企画展を実施しました。展示は「魚を食べる」という視点から、展示水槽内の魚のレシピ紹介のほか、映像、ハンズオン、においなど五感を刺激することで来館者が楽しみながら学び記憶に残る展示構成とし、広く来館者に魚に興味を持ってもらうきっかけを提供しました。



「食・資源」をテーマにした
特別企画展

水槽内の魚を使った
レシピを紹介



この活動は、水族館スタッフだけではなく、ボランティアや水産大学校、地域、小学校関係者の協力を得て実現しています。活動に関わった皆さんに心より感謝します。今後も水族館らしい魚食普及の活動に取り組みます。

下関市立しものせき水族館



第6回食育活動表彰
消費・安全局長賞

教育関係者・事業者部門【教育等関係者の部】

消費・安全局長賞

公益財団法人 岡崎市学校給食協会

〔愛知県：活動期間12年〕

飛び出す給食センター調理員 子供たちとの交流を深めるこころ豊かな食育活動

交流ができる企画の継続展開で 食生活や食品ロスを啓発

給食センター内で調理業務を行う調理員たちが本来の業務の枠を飛び出し、自由なアイデアで手作りローカルヒーローや夏休み限定の調理場疑似体験イベントなど、園児・児童・生徒との交流ができる企画を創出、継続展開することで、多くの子供たちに対して理想的な食生活や食品ロスの啓発を行っています。



調理師による学校訪問



学校訪問での
授業の様子

独自のローカルヒーローによる 食育ショー

給食戦隊ツクルンジャーによる食育ショーでは、オリジナル台本を作成し、子供たちが楽しく参加しながら理想的な食生活を学ぶ〇×クイズや、みんなの力で悪役をやっつける演出を取り入れ、成功体験として印象・記憶に残るように工夫しています。未就学児など、食育を意識できる年齢に達していない子供たちに対しても、キャラクターを通じて理想的な食生活や食事のマナーなどを啓発しています。

給食戦隊ツクルンジャー
登場！



ツクルンジャーによる食育ショー

給食調理の疑似体験を通じて 食事に対する意識変化を促す

施設見学イベントでは、給食調理の疑似体験を通じて給食調理の大変さを体験してもらうとともに、ガイドを務める調理員の生の言葉で、調理に携わる人たちの思いや給食の食べ残しについて話し、食事に対する意識変化の醸成につながるよう心がけています。



調理疑似体験の様子



給食調理員自らが公益法人の職員の視点で企画したところ、公益性に特化した食育事業を展開することができました。今後も活きた教材である『給食』を軸として、子供たちへの食育啓発に取り組んでいきたいと思っています。

公益財団法人 岡崎市学校給食協会

東洋大学附属姫路高等学校

プロジェクト

トーヨー

地域活性部 PROJECT TOYO

[兵庫県：活動期間3年]

高校生による自然活用型社会を目指した活動

耕作放棄地を借りて伝統野菜を栽培

持続可能な社会の実現と地域の住環境の保全や活性化、高校生の地域愛の育成のために、地元の耕作放棄地を借りて伝統野菜である「姫路若菜」を栽培しています。栽培した野菜を使って姫路の伝統料理を地域の方々と研究し、料理教室を行う中で、世代間交流を行うとともに地域の活性化に貢献しています。



種まきの様子



姫路若菜収穫の様子

伝統野菜を周知するため 特産品研究と商品開発

伝統野菜を多くの人に知ってもらうため、加工品会社と連携し、収穫した農作物と姫路産の舌平目と雪乃豚で加工品を作りました。それらは、姫路市のふるさと納税返礼品となっています。さらに、栽培した苺を使って地元の工房と連携して加工品を新たに開発。栽培した農作物を無駄なく使うために、次々と商品を考案しています。



特産品開発 記者発表の様子



栽培したイチゴをアイスに

害獣である鹿を地域資源に

農産物栽培の中で鹿害を体験。その体験から、鹿肉を地域資源にしようと、猟友会と連携し害獣である鹿の解体を体験し、鹿肉を地域の名産品として認知してもらうため、手軽に食べることでできる加工品を開発しました。



鹿肉の缶詰発表会

鹿の解体体験



今回の受賞は、私たちの励みになりました。連携くださった方々にも感謝しています。今後は、さらに地域との繋がりを深め、地域の活性化のために活動を発展させたいと思います。ありがとうございました。

東洋大学附属姫路高等学校
地域活性部 PROJECT TOYO